

学校法人今治明德学園に関わっておられる皆さんへ

令和 6 年 2 月 4 日

今治明德学園学園長 岡田 武史

評議員、理事、教員、職員、そして生徒、保護者のみなさんに、今回の FC 今治高等学校里山校の入試の状況について共有させていただきます。

里山校の一般入試を終えた時点で、結論から言いますと我々の想像を遥かに下回る応募状況でした。おそらく予定定員の半分ぐらいの人数（1 クラス）でスタートすることになると思っています。構想発表後の反響も大きく、教育関係者からも多くの支持をいただいていたので、正直ショックでした。

でも冷静に考えると、通常の学校では認可が降りるまでの 2～3 年を準備告知に充てるのに対して、我々は 1 年での準備告知だったため十分情報が行き届いておらず、まだサッカーの学校だと思っている人もたくさんいることがわかりました。また新しい教育を強調しすぎ、具体的なカリキュラムも公表しなかったため、学費も安くない中、大学進学ができないのではという印象を持たれた方が多かったようです。ただでさえ 1 期生という不安があることも踏まえると、当然の結果だと捉えています。

ただ今回応募してくれた子供達は、それなりの覚悟をしてきていることもあり、素晴らしい子供達ばかりでした。この 1 期生たちと一緒に素晴らしい学校を作っていくことで、みなさんに認めてもらえると思っています。

それと共に地元含め、こまめな対応をしていかないといけないと考えています。まだまだ大学進学をいちばんの要件に考える人たちが主流だということもわかったので、学校法人今治明德学園全体を活気づけられるように、我々は火付け役としてこの 1 年全身全霊をかけて取り組んでいきます。

是非みなさんも一緒に、みんなが働きたい、みんなが授業を受けたいと思ってもらえる素晴らしい学園を作っていきましょう。